No.7398-70907A

リモコンエンジンスターター
TE-W2200
TE-W22PS
取扱説明書

もくじ

はじめに

このたびは、リモコンエンジンスターターTE-W2200/W22PSをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、リモコンエンジンスターターTE-W2200/W22PS(以下本製品という)をご使用頂くためのガイドブックです。
この製品は、一定の安全条件を満たしている場合に、遠隔操作により車のエンジンをスタート(ドアをロック/アンロック)させる装置です。
この製品を正しく安全にご使用頂くために、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にご使用ください。この取扱説明書はお読みになった後も、車検証入れなどすぐに取出せる場所に保管し、ご使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、お役立てください。
また、本製品を譲られる場合は、次に使用される方に本書も併せてお渡しください。尚、誤った取り付け、使用による事故、破損などの責任は一切負いかねます。
※本製品使用中に、万一取付車に盗難等の被害が発生しても、当社補償は一切ありません。

注意事項の定義

この取扱説明書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。
各々の定義(意味)を充分に理解された上で、お取扱いください。

危険	重大事故が起こる状況のもの
警告	人体に対し、危険が生じる恐れのあるもの
注意	物品を破損、故障させる恐れのあるもの
禁止	法律に違反する恐れのあるもの
参考	取り付け、取扱において知っていると有益な情報

TE-W2200/W22PSの特長

■多彩なアンサーバック機能
エンジン情報・ドアロック状態(※)・アイドリング残時間・車内温度・車両バッテリー電圧をリモコンの液晶画面にデジタル表示します。
※ドアロック状態のアンサーバックは本製品のリモコンで行ったドアロックおよびドアアンロックの操作のみが反映されるものです。なお、ドアロックの操作には別途ドアロックオプションが必要です。

■無駄なアイドリングを防ぐ「エコスタート機能」(14ページ参照)
車内温度の状態をチェックして無駄なアイドリングを防ぐエコスタート機能を搭載しました。

■ドアロック機能(18ページ、20ページ参照)
本製品のリモコンで遠距離からでもドアロック(アンロック)が可能なため非常に便利です。また、TE-W2200は別売の「ハザードフラッシュリレー2」(TE418)を組み合わせる事によりハザード連動も可能です。
※ドアロック機能は別途アダプターなどが必要です。また、車種によってはご使用いただくことができない場合があります。詳しくは店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。

■車速連動ドアロック機能(オプション)(TE-W2200のみ)
別売の車速連動ドアロックコード(TE419)を接続することで、車速連動ドアロック機能が使用できます。
※車種によってはご使用いただくことができない場合があります。

■スターターカット機能(37ページ参照)(TE-W2200のみ)
本製品のリモコンでドアロック操作を行う事により、キーによるエンジン始動ができなくなるため、車両盗難(乗逃げ)の防止に効果があります。
※スターターカット機能はドアロック配線を行っていない場合でも使用できます。また本機能を使用するには、スターターカット機能の設定(37ページ参照)を行う必要があります。

■快適な通信性能
先進技術のRSC(Reed Solomon Code)デジタル補正により、通信距離の向上と建物の密集した場所での安定した通信を実現しました。

■誤操作防止機能(23ページ参照)
カバンやポケットの中での思わぬ誤操作を防ぐため、リモコンにボタン操作ロック機能を装備しました。

■ターボタイマー機能(24ページ参照)(TE-W2200のみ)
ターボ車のアフターアイドリングを行うためのターボタイマー機能を搭載しました。アフターアイドリングの時間は、走行時間に応じて自動的に変化します。

■自動停止機能(25ページ参照)
本製品によるエンジン始動後、一定時間経過すると自動的にエンジンが停止します。

■リトライ機能
一度の始動動作でエンジンがかからない場合でも、自動的にセルモーターの回転時間を延長しながら合計3回まで始動を試みますので厳冬期でも安心です(最長セルモーター回転時間=約4.0秒)。

■アイドリング延長機能
本製品でのエンジン始動中に再度スタート操作を行うことにより、アイドリング残時間が始動時と同じ時間に戻ります。

■防犯LED機能
アンテナユニット内蔵の赤色LEDが点滅することで、車上狙いなどの犯罪者を心理的に威嚇し、防犯効果を発揮します。

■スリープモード
バッテリーの負担を軽減させるために、14日以上エンジンの始動を行なわなかった場合に防犯LEDおよびエンジンスターターの機能を自動的に停止します。

■スペアリモコン対応<別売>(43ページ参照)
標準装備のリモコンを紛失した場合、別売のスペアリモコンが使用可能です。
※増設はできません。

■純正イモビライザー装着車対応
純正イモビライザー装着車でもエンジンスターターがお使いいただけるよう、別売のアダプターを用意しました。
※TE-W22PSはアダプター不要です。
※車種により適合の可・不可があります。詳しくは店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。

■電波法適合品
本製品の特定小電力無線は日本国内の電波法に適合していますので安心してお使い頂くことができます。

■車検対応品
本製品は車検対応品です。

■寒冷地推奨品
本製品のメインユニットは−20℃でも動作可能なため、厳冬期でも安定した動作を実現します。

■安心の日本製で、信頼の3年保証
TE-W2200/W22PSは日本製。徹底した品質管理により、信頼の3年保証(リモコンは1年)を実現しました。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただき、お客様や周りの方、物への被害を防ぐため、必ずお読みください。

警告事項

警告

換気の良くない場所（ガレージ・立体駐車場・地下駐車場）で使用しないでください。
排気ガスが充満して大変危険です。

⚠警告

マフラーが雪で埋もれた状態で使用しないでください。排気ガスが車内に充満する恐れがあります。また配線の損傷による車両火災の原因にもなりますので大変危険です。

⚠警告

リモコンは、お子様の手が届かない場所に保管してください。
誤操作による事故の恐れがあります。

警告

リモコンは、直射日光の当たる場所・車内・暖房器具の近く等、高温になる場所で、保管または使用しないでください。
リモコンが高温になり、やけどや故障の原因となります。特に、車のダッシュボード上は非常に高温となりますので、絶対に放置しないでください。

⚠警告

運転中に本製品の操作をしないでください。
事故の原因になります。

⚠警告

車にボディカバーを掛けたままで使用しないでください。
火災の恐れがあります。

⚠警告

車の近くに燃えやすいものがないことを確認してから、ご使用ください。
火災の恐れがあります。

⚠警告

お子様やペットなどを車内に残したままで、使用しないでください。
事故の恐れがあります。

⚠警告

車を他人に預ける時（整備に出す等）は、リモコンの電池を抜いておいてください。
誤操作による事故の恐れがあります。

⚠警告

ターボタイマー機能を使用する際は、必ずセレクトレバーが「P」の位置でキーを抜いてください。また、カウントダウン中にキーを抜いたままセレクトレバーを動かすことができる車両は、ターボタイマー機能を使用しないでください。
事故の原因になります。

注意事項

⚠注意

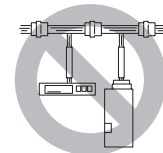
ターボタイマー（スターター）や盗難警報機類との併用取り付けはしないでください。
誤作動の原因となります。

⚠注意

リモコンは直接水のかかる場所や湿気の多い場所で、保管または使用しないでください。
故障の原因となり、リモコンでの操作ができなくなる場合があります。

⚠注意

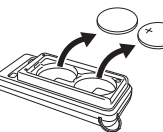
長時間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておいてください。
故障の原因となります。

⚠注意

リモコンを床に落としたり硬いものにぶつけたりしないでください。
故障の原因となり、リモコンでの操作ができなくなる場合があります。

⚠注意

製品が汚れた場合は、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をよく絞ってから拭き、乾いた布でもう一度拭いてください。
ベンジン、シンナー等の化学薬品は、絶対に使用しないでください。変形・変色や故障の原因となります。

禁止事項

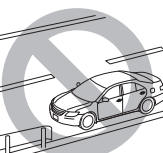
禁止

エンジンスターター機能およびターボタイマー機能は安全な場所でご使用ください。道路で使用すると違法となりますので、絶対に使用しないでください。

禁止

製品に貼付の技術適合証明ラベルをはがしたり、ラベルのないものを使用することは、法律で禁じられておりますので、絶対にしないでください。

禁止

一部地域では、暖機運転以外の目的で使用すると条例違反となります。

禁止

この製品は、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けております。分解したり、改造することは、法律で禁じられておりますので、絶対にしないでください。

⚠禁止

この製品は、日本国内の電波法に適合しています。国外での使用は、違法となる場合がありますので、おやめください。

CAUTION

This Product is for use only in Japan.

危険

マニュアル車へ取り付けることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れ駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスターターを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。

●マニュアル車には、取り付けできません。

●12V車専用です。トラックなどの24V車には、取り付けできません。

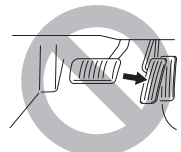
外車
特種用途自動車

●外車・特種用途自動車には、取り付けできません。

キーフリー
スマートキー
セキュリティ

●キーフリーシステム・スマートキーシステム・純正セキュリティアラーム装着車には、取り付けできません(適合車種除く)。

●平成元年以前の車でシフトロックが装着されていない車(フットブレーキを踏まずにセレクトレバーが「P」から移動できる車)には、取り付けできません。

●エンジン始動時に下記のような場合には、取り付けできません。

アクセル操作が必要な車

チョークレバーを引く車

年間を通じ、始動操作をして2秒程度でエンジンのかからない車

●雨滴感応ワイパー装着車には、取り付けできません。
取り付けすると車両故障の原因となります。

参考事項

参考

電波到達距離は、周囲の環境や使用状況により異なります。車と送信場所との間に建造物等がある場合には、電波到達距離が短くなります。

参考

まれに、本製品と純正キーレスエントリーの電波が干渉し、キーレスエントリーの作動距離が極端に短くなる場合があります。その場合は、41ページ「リモコンIDの再登録」を行って、周波数チャンネルの変更をお試しください。

参考

リモコンをTV、パソコンなどの近くで使用するとノイズの影響により通信距離が短くなる場合があります。その場合はノイズ発生源から離してお使いください。

参考

オートチルトおよびマイコンプリセットステアリング装着車は、本製品でエンジン始動した状態でイグニッションキーを差込んでもオートチルトおよびマイコンプリセットが作動しなくなりますので、キーでエンジンを再始動してください。

参考

ほとんどの純正キーレスエントリー装着車は、車両の仕様上、エンジン始動中に純正キーレスエントリーが作動しないようになっています。このような車両の場合、エンジンスターター機能でのエンジン始動中は、本製品のドアロック／アンロック機能を使用するか、キーでドアを開ける必要がありますのでご了承ください。

参考

リモコンを低温になる場所に置いておくと、一時的に電池電圧が低下して液晶やバックライトの表示が薄くなることがありますが、常温になれば元に戻ります。

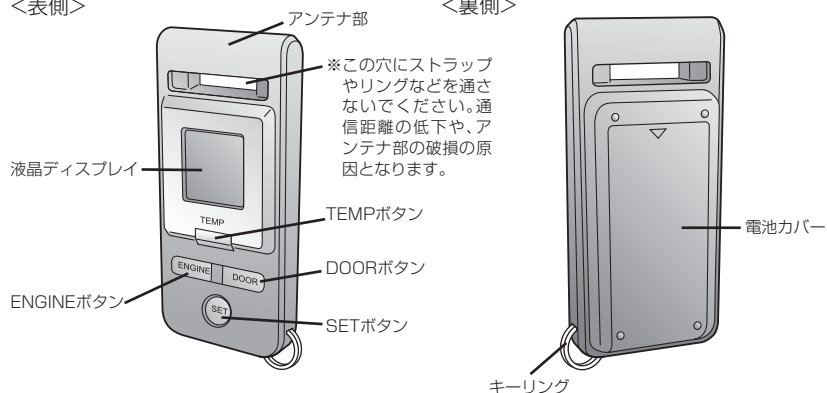
参考

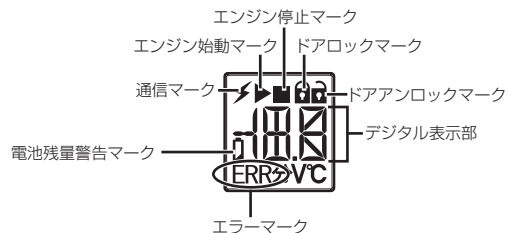
本製品のそばで大出力の無線機等を使用すると、無線機の発する電磁波により、誤作動や未作動の原因となる場合があります。

参考

オートライトコントロール装着車は、ライトスイッチがAUTOの位置で本製品を作動させると、オートライト機能が正常に作動しない場合やエンジンがかからない場合があります。ライトスイッチは必ずOFFの位置にしてご使用ください。

付属品の確認

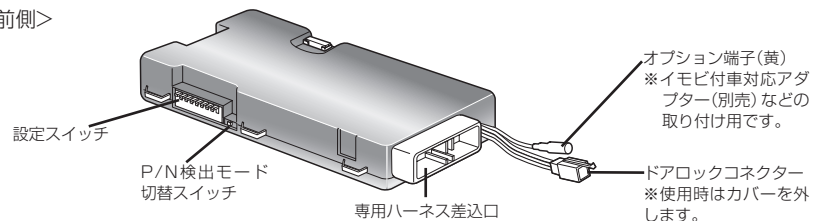
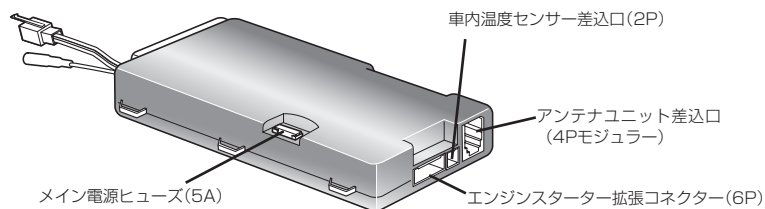
●リモコン　1個

参考 アンテナ部に触れた状態で操作すると著しく通信距離を縮めますのでご注意ください。

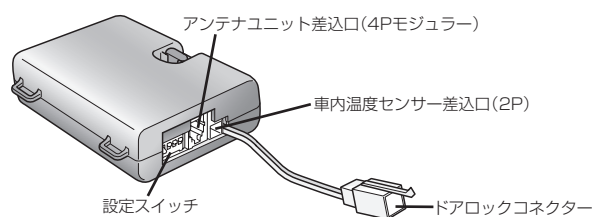
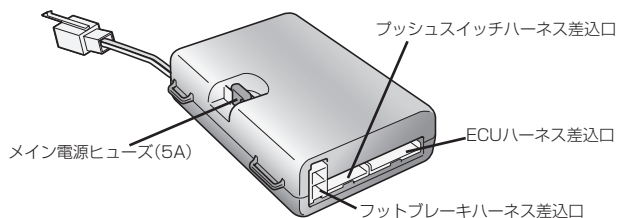
●リモコン(液晶ディスプレイ)

メモ ドアロック機能を利用するには別途アダプター等が必要です。

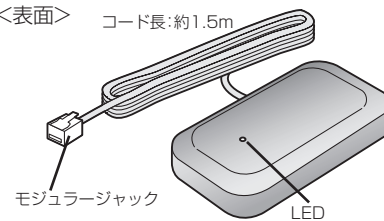
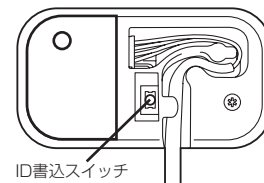
メモ 純正キー(純正キーレス) などでドアロック／アンロックした場合、本製品のリモコンの画面にはドアのロック状態は反映されません。

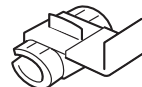
●本体(メインユニット)　　　どちらか1個

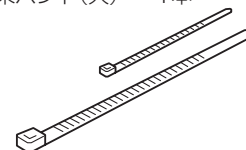
・TE-W2200

<前側>

<後側>

・TE-W22PS

<前側>

<後側>

●アンテナユニット 1個

<表面>

<裏面>

●その他の付属品

・ワンタッチコネクター　　1個
（TE-W22PSの場合は３個）

フットブレーキの配線等に使用します。

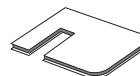
・結束バンド(小)　　3本
・結束バンド(大)　　1本

コードを束ねたり、本体の固定に使用します。

・危険シール　　　　1枚

エンジンルーム内の目立つ場所に貼ります。

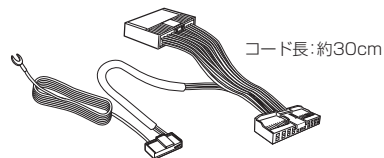
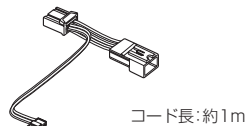
・車内温度センサー　1個

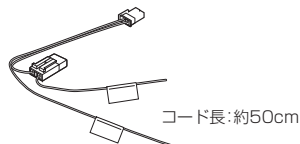
車内温度を計測するセンサーです。

・面ファスナー　　　1セット

アンテナユニットの取り付けに使用します。

次のページへ

●ハーネス類(TE-W22PSのみ)

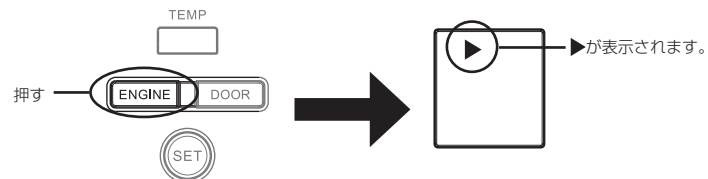
・ECUハーネス　1個

・プッシュスイッチハーネス　1個

・サイドブレーキ検出コード　1個

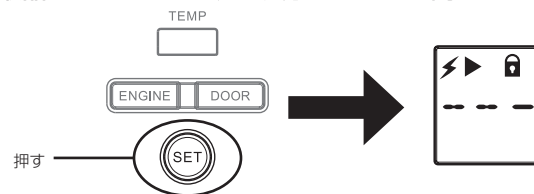
・フットブレーキハーネス　1個

使いかた

エンジンをかける(通常のスタート方法)

メモ　すでにリモコンを使ってエンジンがかかっているときにこの操作をすると、アイドリングの残り時間がリセットされ、再びカウントダウンを開始します。(アイドリング延長機能)

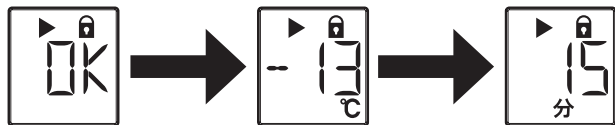
環境に配慮し、不必要なアイドリングの延長はおやめください。

1 すべてのドアを閉め、[ENGINE]ボタンを押します。

メモ　キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときに[ENGINE]ボタンを2秒以上押し続けると、エンジンを停止する操作になります。(16ページ参照)

2 液晶ディスプレイに▶が表示されている間に、[SET]ボタンを押します。

メモ　キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときは、この手順は不要です。(30ページ参照)

次のページへ

3 液晶の表示を確認します。

本体との通信が成功してエンジンがかかると、車内温度とアイドリングの残り時間が表示されます。

メモ このとき、ドアのロック状態も表示されます。

ロック時　　アンロック時

参考 **ドアロックの状態は、本製品が一番最後に行なったドアロック操作の内容が表示されます。実際の車両のドアロック状態を知らせるものではありませんので、ご注意ください。**

参考 **[SET] ボタンを押してから30秒以上たっても液晶に「OK」と表示されないときは、エンジンがかかっていない可能性があります。もう一度操作し直してください。**

参考 **純正キーレスエントリー装着車の場合、本製品によるアイドリング中はキーレスエントリーの操作が受け付けられないことがあります。その場合はいったんエンジンを停止してからキーレスエントリーを操作するか、本製品のドアロック機能を利用してください。（18ページ「ドアロック機能」参照）**

メモ 本製品でエンジンをかけている場合は、アンテナユニットから「ピッピッピッ…」（1秒間隔）と音が鳴ります。

メモ リモコンにエラーが表示されるときは、47ページ「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

4 車に乗り込み、車のイグニッションをONにします。

これで走行できるようになりました。

参考 **プッシュスタート車は乗り逃げ防止のため、アイドリング中にドアを開けるとエンジンが停止します。**

参考 **一部の車種では、いったんエンジンを切ってから車両本来の方法でエンジンをかけ直す必要があります。**

エンジンをかける（エコスタート機能を使う方法）

環境に配慮してアイドリング時間を短縮するために、車内温度に応じてアイドリング時間を自動で調整する「エコスタート」機能を搭載しています。エコスタート機能を使用してエンジンをかけてから車内温度が次のいずれかの状態になると、その時点から5分後にエンジンを停止します。

- エンジンをかけてから車内温度が10～30℃の範囲に入ったとき
- エンジンをかけてから車内温度が10℃以上、上昇または下降したとき
- エンジンをかけた時点で車内温度が10～30℃の範囲に入っていたとき

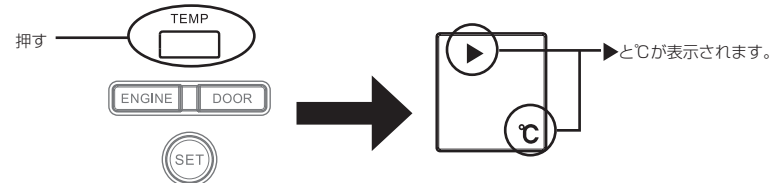
メモ アイドリング時間の設定に関わらず、上記の条件でエンジンが停止します。

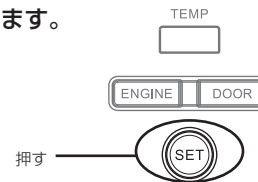
メモ 最大アイドリング時間は、設定に関わらず15分です。

メモ すでにリモコンを使ってエンジンがかかっているときにこの操作をすると、アイドリングの残り時間がリセットされ、再びカウントダウンを開始します。（アイドリング延長機能）

環境に配慮し、不必要なアイドリングの延長はおやめください。

メモ 車内温度は付属の温度センサー先端部の温度です。
車両純正の温度計の表示などとは一致しません。

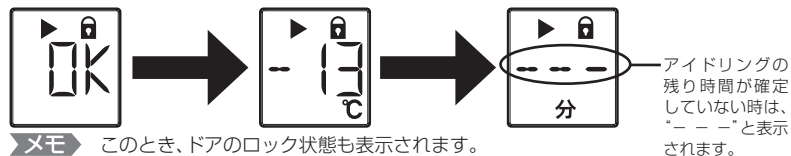
1 すべてのドアを閉め、[TEMP]ボタンを押します。

メモ [TEMP] ボタンを2秒以上押し続けると、車内温度を確認する操作になります。（22ページ参照）

2 液晶ディスプレイに▶と℃が表示されている間に、[SET] ボタンを押します。

押す

メモ キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときは、この手順は不要です。（30ページ参照）

次のページへ

3 液晶の表示を確認します。

本体との通信が成功してエンジンがかかると、車内温度などが表示されます。

メモ このとき、ドアのロック状態も表示されます。

ロック時　アンロック時

参考 ドアロックの状態は、本製品が一番最後に行なったドアロック操作の内容が表示されます。実際の車両のドアロック状態を知らせるものではありませんので、ご注意ください。

メモ 車内温度が10〜30℃のときは、アイドリングの残り時間が、「5分」と表示されます。

参考 [SET]ボタンを押してから30秒以上たっても液晶に「OK」と表示されないときは、エンジンがかかっていない可能性があります。もう一度操作し直してください。

参考 純正キーレスエントリー装着車の場合、本製品によるアイドリング中はキーレスエントリーの操作が受け付けられないことがあります。その場合はいったんエンジンを停止してからキーレスエントリーを操作するか、本製品のドアロック機能を利用してください。（18ページ「ドアロック機能」参照）

メモ 本製品でエンジンをかけている場合は、アンテナユニットから「ピッピッピッ…」（1秒間隔）と音が鳴ります。

メモ リモコンにエラーが表示されるときは、47ページ「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

4 車に乗り込み、車のイグニッションをONにします。

これで走行できるようになりました。

参考 プッシュスタート車は乗り逃げ防止のため、アイドリング中にドアを開けるとエンジンが停止します。

参考 一部の車種では、いったんエンジンを切ってから車両本来の方法でエンジンをかけ直す必要があります。

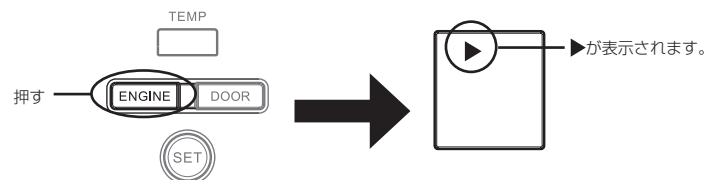
次のような場合に、正常に通信できないことがあります。

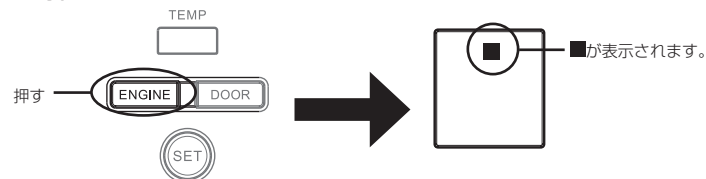
・リモコンからの送信時に、周囲で同じ周波数帯の電波が飛んでいる
　→時間をおいてもう一度操作してください。
・リモコンからの送信時に、アンテナユニットも送信している
　→時間をおいてもう一度操作してください。
・車から離れていて電波が届かない
　→車に近付いてもう一度操作してください。

エンジンを止める

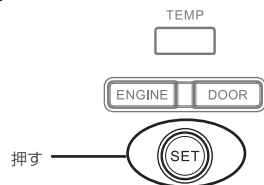
参考 この操作では、次の場合にエンジンを止められます。
・本製品でエンジンをかけた場合
・本製品のターボタイマー機能でアフターアイドリングを行っている場合

参考 車両のキーやスタートスイッチでエンジンをかけているときは、この操作でエンジンを止められません。

1 [ENGINE]ボタンを押します。

メモ キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときは、[ENGINE]キーを2秒以上、押し続けてください。（30ページ参照）

2 液晶ディスプレイに▶が表示されている間に、もう一度［ENGINE］ボタンを押します。

メモ キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときは、この手順は不要です。（30ページ参照）

次のページへ

3 [SET]ボタンを押します。

メモ キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときは、この手順は不要です。(30ページ参照)

4 液晶の表示を確認します。

本体との通信が成功してエンジンが停止すると、次のように表示されます。

メモ このとき、ドアのロック状態も表示されます。

 ロック時

 アンロック時

参考 ドアロックの状態は、本製品が一番最後に行なったドアロック操作の内容が表示されます。実際の車両のドアロック状態を知らせるものではありませんので、ご注意ください。

メモ リモコンにエラーが表示されるときは、47ページ「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

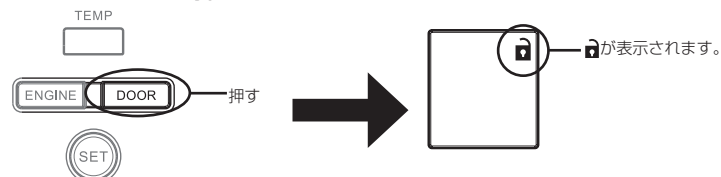
ドアをロックする

参考 本機能は、ドアロックコードまたはドアロックアダプター(別売)が配線済みのドアロック適合車種で使用できます。

参考 スターターカット機能(37ページ参照)が「ON」の場合に本製品でドアロックをすると、スターターカット機能が働いてキーでエンジンをかけられなくなります。(TE-W2200のみ)

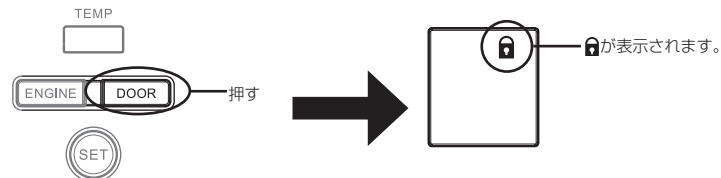
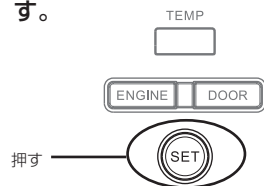
参考 車両のキーやスタートスイッチでエンジンをかけたときは、リモコンでドアロックはできません。

1 車両のドアがすべて閉じられていることを確認します。

2 [DOOR]ボタンを押します。

参考 キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときは、[DOOR]ボタンを2秒以上、押し続けてください。(30ページ参照)

3 液晶ディスプレイに🔓が表示されている間に、もう一度[DOOR]ボタンを押します。

メモ キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときは、この手順は不要です。(30ページ参照)

次のページへ

4 液晶ディスプレイに🔒が表示されている間に、［SET］ボタンを押します。

メモ キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときは、この手順は不要です。（30ページ参照）

5 液晶の表示を確認します。

本体との通信が成功してドアがロックされると、次のように表示されます。

メモ ▶が表示されているときは、本製品によるアイドリング中です。
■が表示されているときは、エンジン停止中です。

6 すべてのドアが正しくロックされているか、確認します。

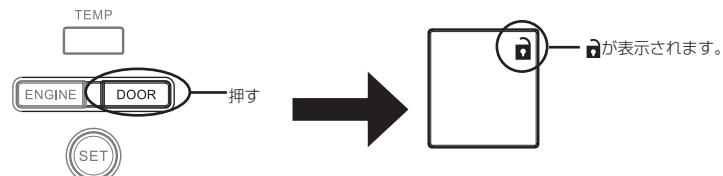
メモ リモコンにエラーが表示されるときは、47ページ「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

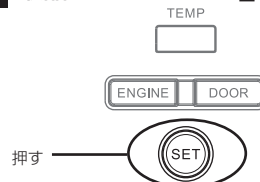
ドアをアンロックする

参考 本機能は、ドアロックコードまたはドアロックアダプター（別売）が配線済みのドアロック適合車種で使用できます。

参考 プッシュスタート車は乗り逃げ防止のため、アイドリング中にドアを開けるとエンジンが停止します。

参考 純正キーレスエントリーにドアの自動再ロック機能が付いている車種では、本製品のリモコンでアンロックした場合は、自動再ロック機能が働かないことがあります。

1 ［DOOR］ボタンを押します。

メモ キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときに［DOOR］ボタンを2秒以上押し続けると、ドアロックの操作となります。（18ページ参照）

2 液晶ディスプレイに🔓が表示されている間に、［SET］ボタンを押します。

メモ キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときは、この手順は不要です。（30ページ参照）

3 液晶の表示を確認します。

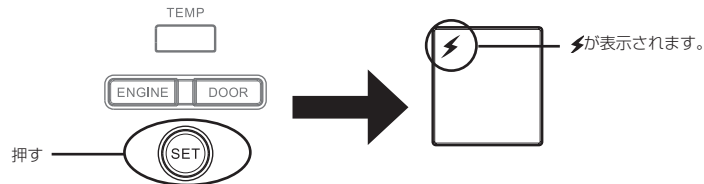
本体との通信が成功してドアがロックされると、次のように表示されます。

メモ ▶が表示されているときは、本製品によるアイドリング中です。
■が表示されているときは、エンジン停止中です。
▶・■いずれも表示されないときは、本製品とは関係なくエンジンがかかっている状態です。

メモ リモコンにエラーが表示されるときは、47ページ「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

車の状態を確認する

車がアイドリング中なのか、エンジンが停止しているか等を確認できます。

1 [SET]ボタンを押します。

メモ [SET]ボタンを2秒以上押し続けると、リモコンのボタンをロックする操作となります。（23ページ参照）

2 液晶ディスプレイに⚡が表示されている間に、もう一度［SET］ボタンを押します。

メモ キー操作モードを「1 KEY」に設定しているときは、この手順は不要です。（30ページ参照）

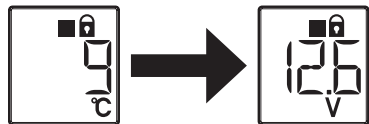
3 液晶の表示を確認します。

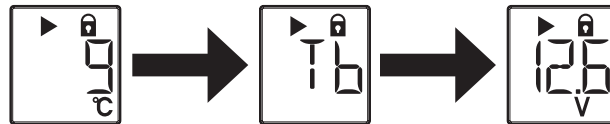
本体との通信が成功すると、次のように表示されます。

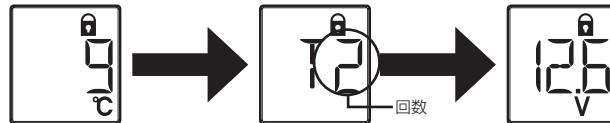
■本製品によるアイドリング中のとき

車内温度、アイドリングの残り時間、バッテリー電圧が表示されます。

■エンジンが停止しているとき

車内温度とバッテリー電圧が表示されます。

■ターボタイマーが作動しているとき

車内温度、「Tb」、バッテリー電圧が表示されます。

■エンジンが始動動作中のとき

車内温度、エンジン始動の試行回数、バッテリー電圧が表示されます。

メモ このとき、ドアのロック状態も表示されます。

ロック時　アンロック時

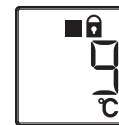
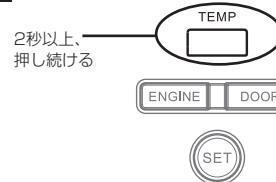
参考 ドアロックの状態は、本製品が一番最後に行なったドアロック操作の内容が表示されます。実際の車両のドアロック状態を知らせるものではありませんので、ご注意ください。

メモ ▶が表示されているときは、本製品によるアイドリング中です。
■が表示されているときは、エンジン停止中です。

メモ アイドリングの残り時間が“－ － －” と表示される時は、エコスタート機能を使っていて残り時間が確定していない状態を表しています。

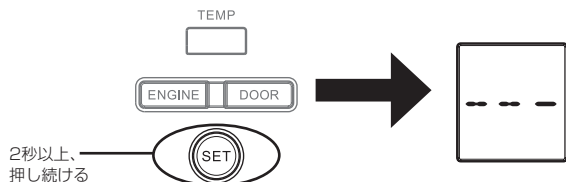
メモ リモコンにエラーが表示されるときは、47ページ「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

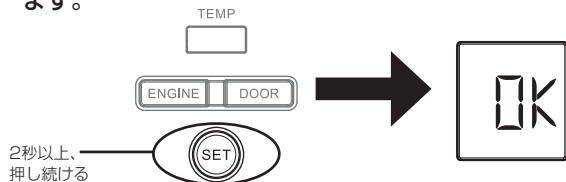
車内温度だけを確認する

1 [TEMP]ボタンを2秒以上、押します。

車内温度が表示されます。
※車内温度以外の表示内容は、21ページ「車の状態を確認する」を参照してください。

リモコンのボタンをロックする（ボタン操作ロック機能）

ポケットにリモコンを入れているときなどに、誤ってボタンが押されて本製品が動作してしまうことを防ぐため、リモコンのボタン操作を無効にできます。

1 [SET] ボタンを2秒以上、押します。

これでリモコンのボタン操作が無効になりました。

2 ボタン操作を可能にするときは、もう一度 [SET] ボタンを2秒以上、押します。

これでボタン操作が可能になりました。

ターボタイマーを使う（TE-W2200のみ）

アフターアイドリングが必要な車種では、ターボタイマー機能を使用します。
キーをOFFにすると、走行時間（キーをONにしてからOFFにするまでの時間）に応じた時間、自動でアフターアイドリングを行います。

走行時間	アフターアイドリング時間
10秒 ～ 30分	1分
30分 ～ 60分	2分
60分 ～	3分

⚠警告 **必ずセレクトレバーを「P」に入れてキーを抜いてください。また、キーを抜いていてもセレクトレバーを動かせる一部の車種では、この機能は使用しないでください。事故の原因となります。**

参考 **キーをONにしてからOFFにするまでの時間が10秒未満だった場合は、この機能は働きません。**

参考 **事前に本体の設定を行ってください。（28ページ参照）**

メモ 環境に配慮し、NA車などアフターアイドリングが必要ない車種ではターボタイマー機能を使用しないでください。

メモ 純正キーレスエントリー装着車の場合、ターボタイマー動作中は純正キーレスエントリーの操作を受け付けないことがあります。

1 キーでエンジンがかかっている状態からキーを「OFF」にします。

自動でターボタイマー機能によるアフターアイドリングが始まります。
アフターアイドリングが終了すると、自動でエンジンが止まります。

メモ アフターアイドリングの残り時間に応じて、アンテナユニットから音が鳴ります。

残り時間	アンテナユニットの音
3分～2分	ピピピッ　ピピピッ…
2分～1分	ピピッ　ピピッ　ピピッ…
1分～終了	ピッ　ピッ　ピッ　…

メモ ガソリンスタンドでの給油時などアフターアイドリングを中断したいときは、リモコンでエンジンを停止します。（16ページ参照）
リモコンが手元にない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。

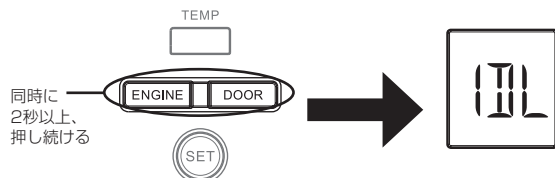
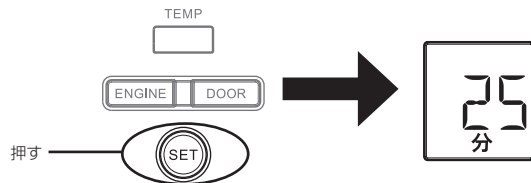
- **P/N検出を行っている場合**（32ページ参照）
  アフターアイドリングが始まって3秒以上経過したらキーを「ON」にし、セレクトレバーを「P」から「R」に動かします。カウントダウンが止まったら「P」に戻し、5秒以内にキーでエンジンを切ってキーを抜きます。
- **フットブレーキ検出を行っている場合**（32ページ参照）
  アフターアイドリングが始まって3秒以上経過してからフットブレーキを踏むと、エンジンが止まります。

設定のしかた

スターターが自動停止するまでの時間

本製品でエンジンをかけてそのまま放置していると、一定時間経過後に自動的にエンジンが停止します。そのエンジン停止までの時間を設定できます。

メモ　環境に配慮し、不必要なアイドリングはおやめください。
メモ　設定を中止するときは、15秒間、何も操作せずにお待ちください。
メモ　エコスタート機能を使ってエンジンをかけたときは、設定に関わらずアイドリング時間は最大15分になります。

1 [ENGINE]ボタンと[DOOR]ボタンを同時に2秒以上、押します。

2 [SET]ボタンを押します。
現在の設定時間が表示されます。

3 [ENGINE]または[DOOR]ボタンを押して時間(分)を設定します。
5/10/15(標準設定)/20/25/30のいずれかを選択できます。

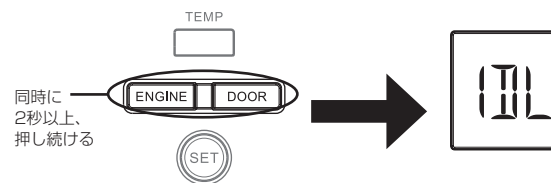
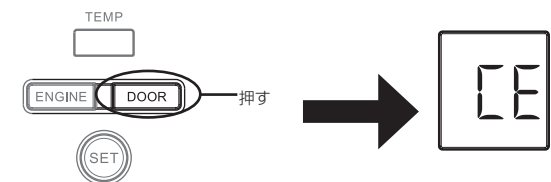
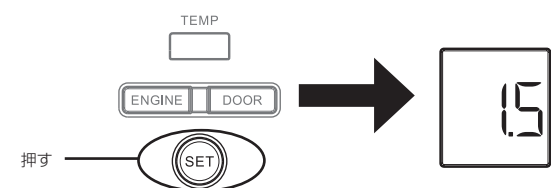
4 [SET]ボタンを押します。
設定が保存され、液晶に「OK」と表示されます。

セルモーターの回転時間

スターターでエンジンをかけるときの、セルモーターの回転時間を設定できます。

参考 **エンジンがかかるまでの時間よりも回転時間を長く設定すると、エンジンがかかった後もセルモーターが回ってしまい、「カリカリ…」と異音がすることがあります。**

メモ　スターターからの信号でエンジンがかからなかった場合、最初の始動と合わせて最大3回、自動でエンジンをかけ直します。そのとき、セルモーターの回転時間は、0.5秒ずつ長くなります。
メモ　設定を中止するときは、15秒間、何も操作せずにお待ちください。

1 [ENGINE]ボタンと[DOOR]ボタンを同時に2秒以上、押します。

2 [DOOR]ボタンを押します。

3 [SET]ボタンを押します。
現在の設定時間が表示されます。

次のページへ

4 [ENGINE]または[DOOR]ボタンを押して時間(秒)を選択します。

0.5/1.0(標準設定)/1.5/2.0/3.0のいずれかを選択できます。

メモ 純正イモビライザー装着車でエンジンがかかりにくい場合は、設定時間を少し長めにしてください。

5 [SET]ボタンを押します。

設定が保存され、液晶に「OK」と表示されます。

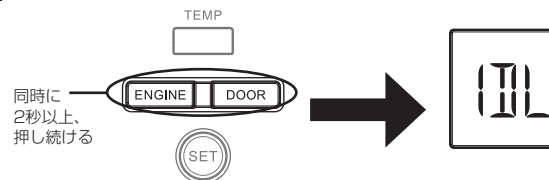
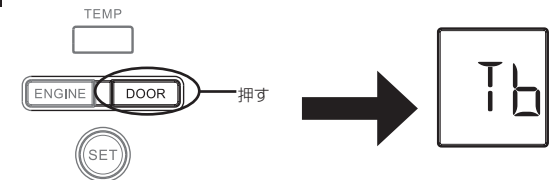
ターボタイマー機能の設定(TE-W2200のみ)

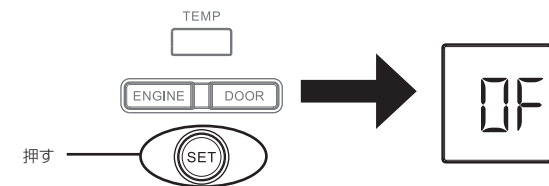
ターボタイマー機能の有効/無効を切り替えます。

参考 TE-W22PSではターボタイマー機能は使用できません。

メモ 設定状態によって、本書に記載されている画面と表示内容が異なります。

メモ 設定を中止するときは、15秒間、何も操作せずにお待ちください。

1 [ENGINE]ボタンと[DOOR]ボタンを同時に2秒以上、押します。

2 [DOOR]ボタンを2回押して「Tb」を表示させます。

3 [SET]ボタンを押します。

現在の設定が表示されます。

この表示の時は、ターボタイマーは無効(OFF)です。

次のページへ

4 [EINGINE]または[DOOR]ボタンを押して設定を切り替えます。

ターボタイマーを有効にするときは「On」にします。

5 [SET]ボタンを押します。

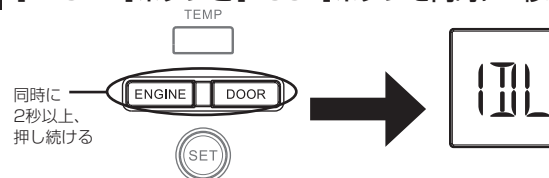
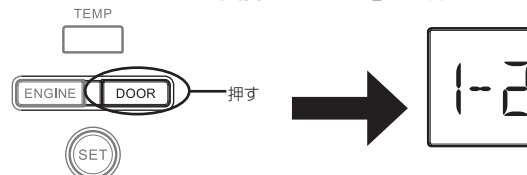
設定が保存され、液晶に「OK」と表示されます。

キー操作モードの設定

本製品には、通常の操作手順より少ないキータッチで操作できる「1 KEY」モードがあります。必要に応じて設定を変更してください。

メモ　出荷時設定は「2 KEY」です。

参考　**「1 KEY」モードに設定した場合は、ポケットの中に入れたリモコンのボタンが意図せず押されてしまう誤操作に注意してください。また、誤操作を防ぐためには、ボタン操作ロック機能を使用してください。（23ページ参照）**

1 [ENGINE]ボタンと[DOOR]ボタンを同時に2秒以上、押します。

2 [DOOR]ボタンを4回押して「1-2」を表示させせます。

3 [SET]ボタンを押します。

現在の設定が表示されます。

4 [ENGINE]または[DOOR]ボタンを押して設定を切り換えます。

通常は「2」（2 KEYモード）に設定します。
1 KEYモードに設定したい場合は「1」に設定します。

5 [SET]ボタンを押します。

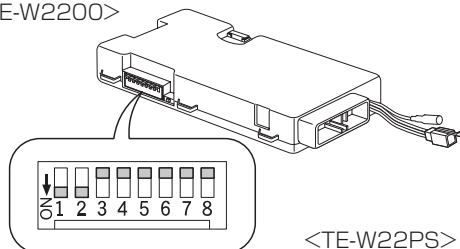
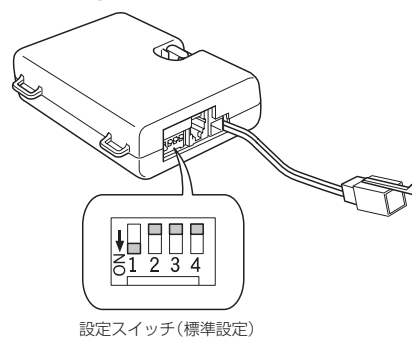
設定が保存され、「OK」が表示されます。

取り付け時の設定

本体の設定スイッチを切り替えて、本製品の機能や動作条件などを設定します。

参考　この設定は取り付け時にだけ行ってください。不用意に設定を変更すると、本製品が正常に動作しなくなることがあります。

設定スイッチ（標準設定）

設定スイッチ（標準設定）

スイッチ番号	設定項目		参照ページ
	TE-W2200	TE-W22PS	
1	パーキングブレーキ検出の設定	パーキングブレーキ検出の設定	32
2	P/N検出、フットブレーキ検出の設定	（使用しません）	32
3	IG2制御の設定	（使用しません）	36
4	L端子配線時の設定	（使用しません）	36
5	スターターカット	–	37
6	（使用しません）	–	–
7	OP端子出力の設定	–	38
8	グロータイムの設定	–	38

パーキングブレーキ検出の設定

パーキングブレーキ（サイドブレーキ）がかかっていないときに、本製品でエンジンが始動できないように設定できます。

メモ　寒冷地などでパーキングブレーキ（サイドブレーキ）をかけずに駐車する場合は、この機能は使用しないでください。（「検出しない」に設定してください。）

メモ　パーキングブレーキ検出機能を使用するときは、あらかじめサイドブレーキ検出コードを接続してください。（別紙「取付マニュアル」参照）

●設定内容

スイッチ1の設定	パーキングブレーキ検出
上(OFF)	検出する
下(ON)	検出しない(標準設定)

P/N検出、フットブレーキ検出の設定（TE-W2200のみ）

安全機能として、ギヤがパーキングまたはニュートラルに入っているかを検出する「P/N検出」と、フットブレーキが踏まれていないかを検出する「フットブレーキ検出」のいずれかを選択する必要があります。

メモ　フットブレーキ検出機能を使用するときは、あらかじめフットブレーキ検出コードを配線してください。（別紙「取付マニュアル」参照）

メモ　車種によってはP/N検出機能が使用できない場合があります。その場合は、フットブレーキ検出機能を使用してください。

参考　本製品を他の車に取り付け直すときは、P/N検出データを消去する必要があります。その場合は、設定スイッチ2をいったん「フットブレーキ検出」にしてP/N検出データを消去してから、設定し直してください。

●設定内容

スイッチ2の設定	フットブレーキ検出･P/N検出
上(OFF)	フットブレーキ検出(*1)
下(ON)	P/N検出(標準設定)(*2)

*1　P/N検出データが消去されます。

*2　P/N検出機能を使用するときは、「P/N検出データの設定」（33ページ）と「P/N検出時のST1/ST2切り替え」（35ページ）の設定も行ってください。

P/N検出データの設定

初めて本製品を取り付けたときや、他の車に取り付け直したときは、P/N検出データ (*) を本体に登録する必要があります。

*P/N検出とは、「ギヤがパーキングもしくはニュートラルに入っている」か、「ギヤが他のポジションに入っている」かを検出する機能です。

1 車に乗ります。

2 セレクトレバーを「P」にしてキーを抜きます。

3 本製品のリモコンでエンジンをかけます。

エンジンがかかる場合
P/N検出データが設定済みか、フットブレーキ検出に設定済みです。このまま使用してください。

アンテナユニットから音が出る場合
「ピー･ピー･ピー･ピー、ピー･ピー･ピー･ピー」と鳴ったときは、次ページの手順 4 に進んでください。
他の音が鳴ったときは、「エラー表示一覧」（47ページ）を参照して対処してください。

4 20秒以内にキーを「ON」（メーターパネルが点灯する位置）にします。

20秒以内に操作できなかったときは、前ページの手順 2 からやり直してください。

操作後、しばらくしてからアンテナユニットが「ピ・ピ・ピ・ピー、ピ・ピ・ピ・ピー」と鳴ったとき
車種別専用ハーネスの品番と、車種別専用ハーネスの取り付け状態を確認してください。

操作してすぐにアンテナユニットが「ピー」と鳴ったとき
手順 5 へ進んでください。

5 20秒以内にブレーキを踏みながらセレクトレバーを「R」または「D」にします。

20秒以内に操作できなかったときは、手順 2 からやり直してください。

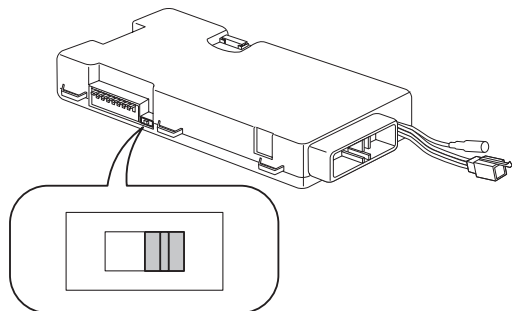
アンテナユニットが「ピ・ピ・ピ・ピー、ピ・ピ・ピ・ピー」と鳴ったとき
「P/N検出時のST1/ST2切り替え」（35ページ）を参照して、ST1とST2を切り替えてください。その後、もう一度手順 2 からやり直してください。
ST1とST2のどちらでも設定できない場合は、P/N検出に対応できない車両です。フットブレーキ検出コードを配線して、本体の設定スイッチ2をOFF(上側)に切り替えてください。

アンテナユニットが「ピー」と鳴ったとき
手順 6 へ進んでください。

6 セレクトレバーを「P」に戻してキーを抜きます。

これでP/N検出データの設定は完了です。

P/N検出時のST1/ST2切り替え

P/N(パーキング/ニュートラル) 検出機能を使用する場合に、正しく検出できるように本体の「P/N検出モード切替スイッチ」を設定します。

P/N検出モード切替スイッチ

●設定内容

スイッチの位置	P/N検出モード
右側	ST1(標準設定)
左側	ST2

IG2制御の設定(TE-W2200のみ)

次の条件を満たすホンダ車で本製品を使用する場合は、この設定を必ずON(下側) にしてください。

·純正のABS(アンチロック·ブレーキ·システム)を装着している
·本製品でエンジンをかけたときに、メーターパネルのABS警告灯が点灯したままになる

また、店頭の「車種別ハーネス適合表」に「IG2制御をONにする必要があります。」と記載されている車種の場合も、この設定を必ずON(下側)にしてください。

参考　正しく設定しないと、ABS警告灯が点灯したままになったり、リモコン操作で正常にエンジンがかからない場合があります。

●設定内容

スイッチ3の設定	IG2制御
上(OFF)	通常(標準設定)
下(ON)	特殊

L端子配線時の設定(TE-W2200のみ)

車両特性によって本製品がエンジンの始動を判断できない場合は、L端子検出コードを車両のL端子に配線してこの設定をON(下側) にすることで、正常にエンジン始動判断ができるようになります。

メモ　通常は標準設定(L端子配線しない)のまま使用してください。
メモ　この設定は、L端子への配線を行った場合にだけ有効になります。

●設定内容

スイッチ4の設定	L端子配線
上(OFF)	なし(標準設定)
下(ON)	あり

メモ　L端子は、エンジンルームのオルタネーターから出ている、次の条件をすべて満たすコードです。

·バッテリーにつながっている太いコード以外
·イグニッションがOFFのときの電圧が0V
·イグニッションをONにしたときの電圧が約+2V以下
·エンジン始動後の電圧が約+12V

スターターカット(乗り逃げ防止)機能の設定(TE-W2200のみ)

リモコンでドアロックしたときに、キーを使ってもエンジンがかからないようにすることで、乗り逃げを防止できます。
リモコンでドアをアンロックすれば、エンジンがかけられます。また、この機能が働いているときでも、リモコン操作ではエンジンがかけられます。

参考 **リモコンの電池が切れてアンロックできないときは、リモコンの電池を新品に交換してください。**

参考 **スターターカット機能を強制的に解除するには**
リモコンを紛失するなどして純正キーでエンジンをかける必要がある場合は、次の手順で操作してください。
(1) 純正キーでドアを開き、車両に乗り込む
(2) 本体から車種別専用ハーネスを抜く
(3) 10秒ほど待って、車種別専用ハーネスを本体に差し込む

この作業がご自身で行えないときは、この機能は使用しないでください。

メモ この機能は純正イモビライザー装着車でも使用できます。

●設定内容

スイッチ5の設定	スターターカット
上(OFF)	使用しない(標準設定)
下(ON)	使用する

OP端子出力の設定(TE-W2200のみ)

本製品に次のアダプターを接続する場合は、この設定をON(下側)にしてください。

・TE413(イモビ付車対応アダプター2)
・TE417(純正セキュリティ対応アダプター1)
・TE420(キー検出制御アダプター)
・TE422(イモビ付車対応アダプター5)　(2008年7月現在)

●設定内容

スイッチ7の設定	OP端子出力
上(OFF)	A(標準設定)
下(ON)	B

グロータイムの設定(TE-W2200のみ)

リモコンからのスタート信号を受信してからセルが回るまでの時間を設定できます。

メモ 通常は標準設定(8秒)のまま使用してください。

参考 **時間を短くすると、特にディーゼル車の場合、寒冷時にエンジンがかからなくなる恐れがあります。**

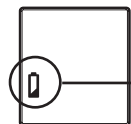
●設定内容

スイッチ8の設定	グロータイム
上(OFF)	8秒(標準設定)
下(ON)	5秒

お手入れ

リモコンの電池交換

リモコンの送信距離が短くなったり操作できなくなったとき、液晶表示が暗くなってきたときは、リモコンの電池が消耗しています。新しい電池（CR2025×2個）に交換してください。

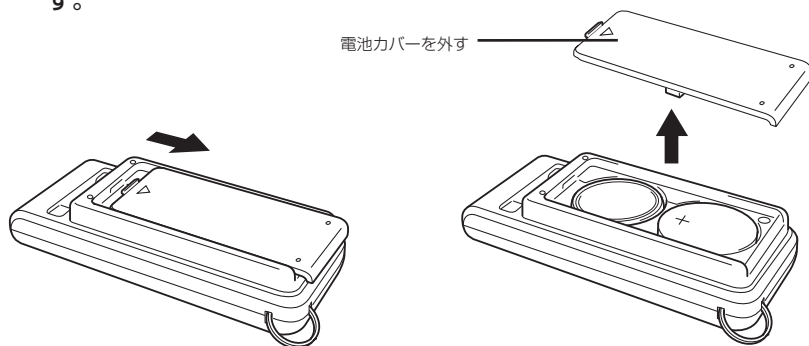
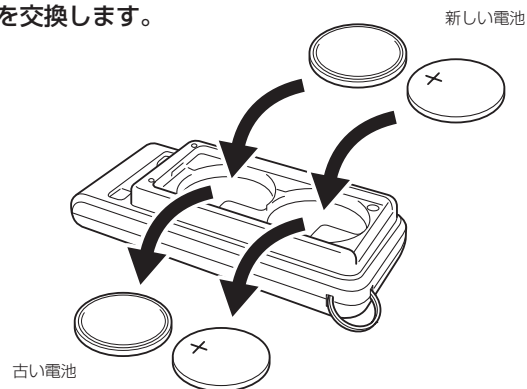
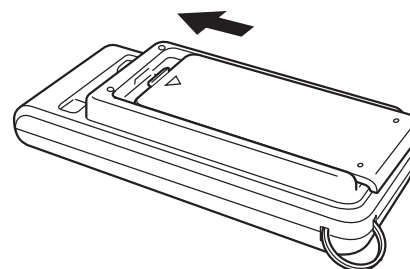
メモ　リモコンを操作したときの液晶画面に下図のアイコンが表示されたら、電池の交換時期です。

メモ　電池の寿命は、1日10回、常温での使用で約1年です。

⚠注意　**必ず新しい電池2個と交換してください。新しい電池と古い電池を同時に使用すると、液漏れなどの原因になります。**

1 電池カバーの「▼」部分を押しながらスライドさせ、電池カバーを外します。

2 電池を交換します。

3 元どおり電池カバーをはめます。

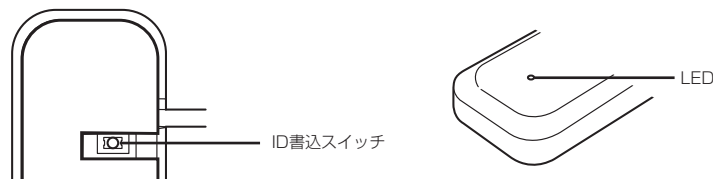
安全にお使いいただくために
付属品の確認
使いかた
設定のしかた
取り付け時の設定
お手入れ
故障かな？と思ったら

故障かな?と思ったら

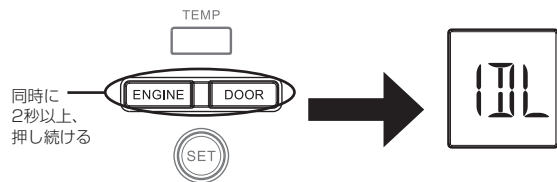
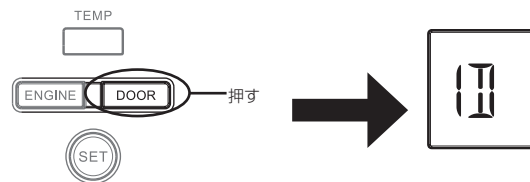
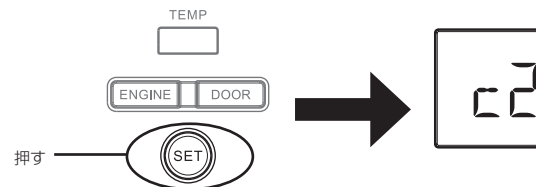
リモコンIDの再登録(混信、妨害電波によって通信が安定しないとき)

スペアリモコンの購入時などはリモコンのIDを本体に登録する必要がありますが、このID登録手順で通信周波数チャンネルを切り替えることにより、通信を安定させることができる場合があります。

メモ 作業前に必ずエンジンを止めてください。
メモ 作業は5分以内に完了してください。

1 **ダッシュボードからアンテナユニットをはがします。**

2 **アンテナユニット裏面のID書込スイッチを3秒以上押し続けます。**
アンテナユニットのLEDが点灯します。

3 **アンテナユニットを元どおりダッシュボードに取り付けます。**

4 **[ENGINE]ボタンと[DOOR]ボタンを同時に2秒以上、押します。**

5 **[DOOR]ボタンを3回押して「ID」を表示させます。**

6 **[SET]ボタンを押します。**
現在の通信周波数チャンネル(c1～c6)が表示されます。

7 **[ENGINE] または [DOOR] ボタンを押して通信周波数チャンネルを切り換えます。**

メモ 通常は設定を変更する必要はありません。

8 **[SET]ボタンを押します。**
設定が保存され、リモコンに「OK」が表示されます。
アンテナユニットのLEDが消えます。
これで設定は完了です。

リモコンを無くしたとき（リモコンIDの登録）

リモコンを紛失したときは、以下の補修用スペアリモコンをお買い求めください。
また「リモコンIDの再登録（混信、妨害電波によって通信が安定しないとき）」（41ページ）を参照して、本体にリモコンIDを登録してください。

メモ　登録できるリモコンは1台だけです。リモコンの増設はできません。

本体品番	対応する補修用スペアリモコン品番
TE-W2200 WH	TER W2200WH
TE-W2200 BL	TER W2200BL
TE-W2200 PK	TER W2200PK
TE-W2200 EG	TER W2200EG
TE-W22PS	TER-W22PS

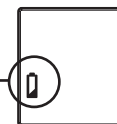
スターターでエンジンがかからないとき

必ず下記の手順に従って確認作業を行なってください。

1 リモコンの電池の状態を確認します。（39ページ参照）

・リモコンの電池は正しく入っていますか?
・リモコンの電池が消耗していませんか?

メモ　リモコンを操作したときに図のアイコンが表示されたら、電池の交換時期です。
新しい電池に交換してください。（39ページ参照）

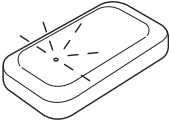
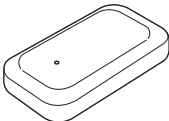
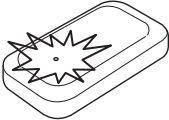
電圧低下を表しています。

2 取付車種および取付ハーネス品番などを確認します。

・取付車種が本製品の取付不可車種になっていませんか?（店頭または当社ホームページの車種別ハーネス適合表等で確認してください。）
・（TE-W2200のみ）ハーネスの品番が合っていますか?
（店頭または当社ホームページの車種別ハーネス適合表等で確認してください。）
・アースコード（黒）の接続は正常ですか?ゆるみ等はありませんか?

TE-W22PSの場合は、次の点も確認してください。

・TE-W22PSは乗り逃げを防ぐため、「ドアが開いている状態」や「フットブレーキが踏まれた状態」では、リモコンでエンジンをかけられません。また、リモコンでのアイドリング中にこれらの状態になった場合は、エンジンを停止します。
※ただし、純正イルミネーテッドエントリーシステムをカスタマイズした場合や、ドアが開いてから長時間経過した場合は、「ドアが開いている状態」でもエンジンをかけられることがあります。
・車幅灯やヘッドライト点灯中は、リモコンでエンジンをかけられません。ライトスイッチは「OFF」の位置にしてください。

次のページへ

3 車両本来の方法（キーやスタートボタンなど）でエンジンがかかるかどうか確認します。

エンジンがかからない場合

・取付ハーネスが正しく接続されているかどうか確認してください。（イモビライザー装着車の場合はイモビ付車対応アダプターの接続も確認してください。）
・スターターカット機能がONになっている場合は、リモコンでドアアンロックの操作を行い、スターターカット機能をOFFにしてください。（TE-W2200のみ）

エンジンがかかる場合

・純正イモビライザー装着車の場合は、イモビ付車対応アダプターの配線、ループアンテナの取り付け位置、ケース内のキーの固定位置などを調整してください。（TE-W2200のみ）
・本体とフットブレーキハーネス（TE-W22PSのみ）のヒューズが切れていないかどうか確認してください。
・本体の設定スイッチNo.3「IG2制御」の設定を確認してください。（TE-W2200のみ）

4 通常待機時の、アンテナユニットLEDの発光状態を確認します。

LEDの状態		原因・対処方法
	ゆっくり点滅を繰り返している	通常の受信待機中です。 手順 5 に進んでください。
	消えたままになっている	エンジンキーが「ON」になっているときは、キーを抜いてください。 キーが抜いてあってもLEDが消えたままのときは、本製品のアースコードの接続場所が適切でない可能性があります。アースコードの接続場所を変えてみてください。 また、アンテナユニットのコネクターが本体に正しく接続されているか確認してください。
	点灯し続けている	ID書込モードになっています。アンテナユニット裏面のID書込スイッチを3秒以上押して、ID書込モードを解除してください。

5 リモコンでエンジンスタートの操作を行い、リモコンの液晶ディスプレイと、アンテナユニットのLEDおよびブザー音の状態を確認する

本製品にはエンジンの始動ができない原因を自己診断して、リモコンの液晶ディスプレイにエラーNo.を表示し、さらにアンテナユニットのLEDとブザー音によって知らせる機能があります。

操作方法

リモコンでエンジンスタートの操作をしてください。(12ページ参照)
その時、リモコンの液晶ディスプレイに表示される内容と、アンテナユニットのLEDやブザーの状態を確認してください。
エラー表示一覧は、次ページの表を参照してください。

参考 車両のすぐ近くで操作しても「ERR90」や「ERR99」が表示されて動作しない場合は、41ページ「リモコンIDの再登録」の操作を行ってください。それでも改善しないときは、本体から車種別専用ハーネス（TE-W22PSはフットブレーキハーネス）を外して15秒程度待ってからもう一度接続し、再度41ページ「リモコンIDの再登録」の操作を行ってください。

エラー表示一覧

● =短いブザー音とLEDの点灯　▬ =長いブザー音とLEDの点灯

リモコンの表示	ブザー音とLEDの状態	原因･対処方法
01 ERR	●●●▬　●●●▬	**●P/N検出エラー1** シフトポジションが「P」または「N」以外の位置になっている可能性があります。エンジンをかけることができる位置にシフトポジションを切替えてください。 シフトポジションが「P」または「N」の位置であるにも関わらずこのエラーが出る場合は、本体の設定スイッチNo.2(フット/PN切替)をOFFにし、5秒程度待ってから再びONに切り替え、33ページを参照の上、再びP/N検出データの設定を行なってください。
02 ERR	●●▬●　●●▬●	**●フットブレーキ検出エラー** フットブレーキ検出コード(車種別専用ハーネスの細い紫コード)の配線が誤っている可能性があります。 フットブレーキ検出を使用せずにP/N検出を使用する場合は、必ず本体の設定スイッチNo.2(フット/PN切替)を「P/N」(ON側)に切り替えてください。
03 ERR	●●▬▬　●●▬▬	**●パーキングブレーキ検出エラー** パーキングブレーキ検出を使用しない場合は、本体の設定スイッチNo.1(パーキングブレーキ検出)が「検出しない」(ON側)になっているかどうか確認してください。 パーキングブレーキ検出を使用する場合は、サイドブレーキ検出コード（W2200は車種別専用ハーネスに付属）の配線が誤っている可能性があります。サイドブレーキ検出コードの配線を確認してください。
04 ERR	●▬●●　●▬●●	**●L端子エラー** L端子検出コードの配線が誤っている可能性があります。配線を確認してください。(L端子配線については36ページ参照)
05 ERR	●▬●▬　●▬●▬	**●バッテリー容量エラー** 車両バッテリーの電圧が低く、セルモーターを回せません。車両のバッテリーを充電してください。(バッテリー上がりを未然に防ぐための機能です)
06 ERR	●▬▬●　●▬▬●	**●始動判断エラー1(始動判断できない)** **セルは回るが、エンジンがスタートしない場合** セルモーターの作動時間が短いことが考えられます。26ページを参照の上、セル回転時間を長めに切り替えてください。また、イモビ付車対応アダプターを使用している場合は、アダプターが正常に取り付けられているか確認してください。 **エンジン始動後すぐに止まってしまう場合** 車両特性によりエンジンの始動判断が行なえません。始動判断が正常に行われない場合は、車両オルタネータのL端子コードに専用ハーネス付属のL端子検出コード(茶色の細い線)を接続した上で、L端子配線の設定(36ページ参照)を行なってください。
07 ERR	なし	**●イグニッションエラー** 車両のイグニッションがONになっています。イグニッションをOFFにしてください。
08 ERR	▬●●●　▬●●●	**●スリープモード** 14日以上エンジンをスタートさせていない場合は、スリープモードに入るためエンジンスタートができません。車両本来の方法で一度エンジンをかけてスリープモードを解除してください。
15 ERR	▬▬▬▬ ▬▬▬▬	**●P/N検出エラー2** P/N検出が設定されていません。33ページを参照の上、P/N検出の設定を行なってください。 P/N検出が正常に行なえない車両の場合は、本体の設定スイッチNo.2(フット/PN切替)を「フット」(OFF側)に切り替えて、フットブレーキコード(車種別専用ハーネスの細い紫コード)を配線してください。(→別紙取付マニュアル参照)
20 ERR	なし	**●温度センサーエラー** 車内温度センサーの接続が確認できません。配線を確認してください。
90 ERR	なし	**●送信エラー** リモコンから電波を送信できませんでした。(15ページ参照) 改善しない場合は41ページを参照して、周波数変更をお試しください。
94 ERR	なし	**●アンテナユニット接続エラー** アンテナユニット裏面のコネクター部分が奥まで差し込まれていないか、アンテナユニットのケーブルが断線している可能性があります。配線を確認してください。
99 ERR	なし	**●通信エラー** リモコンと本体間の通信が成立しませんでした。(15ページ参照)
	エンジンが始動しないのに本体から「ピッ、ピッ、ピッ......」という音が続く場合	**●始動判断エラー2(誤った始動判断を行なう)** 車両特性により、誤った始動判断を行なっています。本体の設定スイッチNo.3(IG2制御)の設定を確認してください。それでも始動判断が正常に行なわれない場合は、車両オルタネータのL端子コードに専用ハーネス付属のL端子検出コード(茶色の細い線)を接続した上で、L端子配線の設定(36ページ参照)を行なってください。

上記以外のエラーコードが表示される場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。

その他のトラブル

	症状	解説	参照ページ
リモコンについて	リモコンが操作できない	リモコンの電池が消耗していませんか?新しい電池に交換してから操作してください。	39
	通信完了まで時間がかかる	本製品は、リモコン操作（電波送信）を行った後に車両側アンテナユニットからのアンサーバック信号が受信できなかった場合、自動的に再送信を試みます。この場合、通信完了までの時間が通常より長くかかりますが異常ではありません。	—
	リモコンでエンジンを止めることができない	キーでエンジンをかけている時は、リモコンでのエンジン停止は行なえません。	—
	エンジンスターターの操作時、車両側はエンジンがかかるにも関わらず、リモコンへのアンサーバックが行なわれない。	本製品のリモコンは、エンジンスターターの操作から約30秒間のみ車両からのアンサーバック信号を待ち受けています。この間に何らかの原因によりアンサーバック信号を受信できなかった場合は、そのまま液晶表示を終了します。	13
	車内温度が「－－－」と表示される	車内温度センサーの接続が確認できません。配線を確認してください。	—
	車両側は正常に動作しているにも関わらずリモコンに「ERR99」と表示される。	リモコンから車両側への通信は正常に行なわれたが、車両側からリモコンへのアンサーバック信号が何らかの原因により受信できなかった事が考えられます。	15
	リモコン操作時、液晶ディスプレイが表示されるまでに時間がかかる。	液晶の特性上、低温時の表示には多少時間がかかる場合があります。リモコン内部の温度が上昇すれば表示は元に戻ります。	—
	バックライトや液晶表示が暗くなったり不安定な状態になる。	リモコンの電池が消耗していると思われます。 新しい電池に交換してください。また、低温になる場所にリモコンを置いておくと、一時的に電池電圧が低下してリモコンの表示が薄くなる場合がありますが、常温になれば元に戻ります。	39

	症状	解説	参照ページ
エンジンスターター・ターボタイマー機能について	エンジンスターターが作動しない	本体のヒューズが切れていませんか?配線を再確認してから新しいヒューズ(別売)に交換してください。	—
		ID登録が正しく行なわれていない可能性があります。再度リモコンIDの登録を行なってください。	41
		P/N検出データが消失していませんか?再度データを書き込んでください。	33
		TE-W22PSの場合は、車幅灯やヘッドライトの点灯中はエンジンをかけることができません。 ライトスイッチを「OFF」の位置にしてください。	—
		TE-W22PSの場合は、ドアが開いているときにエンジンをかけることができません。 すべてのドアを閉めてください。	—
		TE-W22PSの場合は、フットブレーキが踏まれているときにエンジンをかけることができません。	—
		その他の原因の場合は「スターターでエンジンがかからないとき」を参照の上、確認作業を行なってください。	44
	エンジン始動時および停止時に、車両のストップランプが点灯する	プッシュスタート車は車両の仕様上、エンジンをかけるときにフットブレーキを踏む必要があるため、本製品でエンジンをかけるときにはフットブレーキ（テールランプ）部分の配線を電気的に制御しています。 このとき、車両のストップランプが点灯しますが異常ではありません。	—
	ターボタイマーが作動しない	ターボタイマー機能の設定が正しく行われていますか？	28
		TE-W22PSの場合は車両の仕様上、ターボタイマー機能が使用できません。	—
	エンジンスターター・ターボタイマーによるアイドリング中、純正キーレスエントリーが作動しない	ほとんどの純正キーレスエントリー装着車は、車両の仕様上エンジン始動中に純正キーレスエントリーが作動しないようになっています。このような車両の場合、エンジンスターター機能およびターボタイマー機能によるアイドリング中は、本製品のドアアンロック機能を使用するか、キーを使用してドアを開ける必要があります。	—

	症状	解説	参照ページ
その他の症状	通信距離が短い	リモコンの電池が消耗していませんか?新しい電池に交換してください。	39
		リモコンと車の間に電波を遮断する障害物が多いことが考えられます。特に金属物質は電波を通しにくく、通信距離を著しく縮めますので使用の際はご注意ください。	—
		アンテナユニットをダッシュボード以外の場所（特にインダッシュなど）に取り付けている場合は通信距離は短くなります。	—
		アンテナユニットの近くに金属があると通信距離が短くなる場合があります。ピラーなどの金属部から5cm以上離して取り付けてください。	—
	ドアロック機能が使用できない	ドアロック機能はドアロック適合車種のみ使用可能です。 また、ドアロック機能を使用するには別途ドアロック配線が必要となりますのでご注意ください。	—
		キーでエンジンをかけている時はドアロック機能は使用できません。	—
		ドアが開いているとドアロックモーターが作動しない車種がありますので、必ず全てのドアを閉めてからドアロックの操作を行ってください。	18
	スマートエントリー機能が動作しない	プッシュスタート車で、本製品によるアイドリングをリモコンで止めた後にスマートエントリーが動作しない場合は、ドア部のロックスイッチを押していったんドアロックの操作を行い、3秒以上待ってからドアハンドルを引いてください。	—
	キーによるエンジン始動ができない	本製品の「スターターカット機能」が働いていませんか？ドアのアンロック操作を行ってスターターカット機能をOFFにしてから再度始動を試みてください。	20
		取付ハーネスがゆるんでいたり、本製品の本体が　接続されていない場合、キーによるエンジン始動ができなくなります。接続が確実に行なわれているかどうか確認してください。	—
	ドアを開けるとエンジンが停止する	TE-W22PSの場合は乗り逃げを防ぐため、ドアを開けるとエンジンが停止します。	
	ドアをアンロックすると車両の純正ホーンが鳴る	純正のセキュリティアラームなどが装備されている車両の場合、純正リモコンドアロックでドアをロックした後、本製品でドアアンロックを行うと、純正セキュリティアラームが鳴る場合がありますが故障ではありません。このような車両の場合、ロック操作とアンロック操作を同一のリモコンで行う必要があります。	—
	その他、動作が不安定な場合	取付ハーネスのゆるみがないか、また、アースコードが確実なアースポイントに接続されているか確認してください。	—

■仕様

技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
使用周波数	429MHz帯(6チャンネル任意選択式)
通信方式	単信方式
送信出力	10mW
送信時間	40秒以内
送信休止時間	2秒以上

■リモコン

外形寸法	68.0×31.0×15.5(mm)
重量	約26g
使用電池	CR2025×2ケ
電池寿命(常温時)	約1年(1日10回の送信を行なった場合)
作動温度範囲	0℃～+60℃

■本体

・TE-W2200

外形寸法	66×139×27(mm)(突起部除く)
重量	約160g
電源電圧	DC12V
消費電流	約10mA(待機時)(スリープモード付)
作動温度範囲	−20℃～+70℃

・TE-W22PS

外形寸法	66×100×27(mm)(突起部除く)
重量	約96g
電源電圧	DC12V
消費電流	約10mA(待機時)(スリープモード付)
作動温度範囲	−20℃～+70℃

■アンテナユニット

外形寸法	60.0×34.0×12.0(mm)
重量	約50g
コード長	約1.5m
作動温度範囲	−20℃～+70℃